

県内ワイド

情報のあ

元気よ、届け

日赤県支部。被災地復興



日赤県支部長 山本裕行さん

日赤県支部と福井市ツクヤ、青年部が用意し、早速、準備に取り掛かった。炊き出しは(堀江亮次部長が協力)に分乗して現地へ。受初日は焼き肉丼、二日しての初めての試みとして被災地での炊き出し活動が六月十九、二十の両日、宮城県石巻市雄勝地区の大須小学校避難所で行われた。

炊き出し活動



炊き出しの準備をする福井北商工会青年部のメンバー。提供された焼肉丼をほおぼる児童。いずれも6月19日、宮城県石巻市雄勝町の大須小学校で(日赤県支部提供)

テント、教室に笑顔の輪

「被災者に炊き出しを提供したい」との相談を受け「それなら、私たちが救護活動を通じている避難所で」と橋渡しすることになった。

学校では、同小の避難所でも炊き出しと同時に久光新一教頭らが事前に炊き出しの案内チラシを作成。校内や避難所内などに貼って周知を図っていた。三月に被災地へパンを届けた、福井市内の玄関前にテントを設置

「被災者に炊き出しを提供したい」との相談を受け「それなら、私たちが救護活動を通じている避難所で」と橋渡しすることになった。実施前日の十八日、支部職員と青年部の一行は日赤救援トラ



炊き出しの準備をする福井北商工会青年部のメンバー。提供された焼肉丼をほおぼる児童。いずれも6月19日、宮城県石巻市雄勝町の大須小学校で(日赤県支部提供)

東日本大震災義援金 受け付け
日刊県民福井
郵便振替 00730-3-6400
「株式会社 日刊県民福井」通信欄に「東日本大震災義援金」と記入。振込手数料は別途必要。中日新聞社会事業団を通じて送金(※本社窓口でも受け付けます)

「救護班に医師2人」提案

東日本大震災

日赤県支部が活動検証

東日本大震災の被災地で救護活動などを行った日赤県支部救護班のメンバーら約九十人が一堂に会し、これまでの活動を検証する会合が二日、福井市月見院で開かれた。参加者たちは、現地での活動状況や課題などを報告し、今後に向けた改善点なども提案した。



被災地での活動状況や感じたことを報告する医師たち。福井市の福井赤十字病院で

活動した医師は「慢性期に入っており、現地医療の支援が大切」と話すなど、時期に応じた課題が次々と浮き彫りとなった。

被災地での活動状況や感じたことを報告する医師たち。福井市の福井赤十字病院で

「医師が救護班に二人いると、救護所と巡回診療を同時にできる」との意見が出ている。桂知之